

Monthly Repo. ならやま

八木 順一

2月2日(木) 活動 晴れ 59名+5名

2月を迎え、協働作業やグループミーティング等、忙しい月初めになった。しかしまだ寒く、風邪を引いた、インフルエンザになった、といった話がサイトを駆け回る。



体力の衰えとともに風邪も引き易くなる。健康には十分気をつけたいものだ。朝の打ち合わせでは、健康面への留意のほか、近大生によるビオの説明会の連絡等が行われる。この説明会は、昼食時間を使っての説明になったが、短い時間にもかかわらず、要領よくまとめられており、大変分かり易かった。長い時間と体を動かしての実際の手組みが結実したようだ。里山Gは記念植樹を中心とした協働作業、エコGはエンドウの施肥、そして景観Gは実りの森の倒木処理が続く。また、ビオは池整備に加え、近大生を交えての水生生物調査、花は山野草園の草取り、そしてパトは恒例のパトロールに観察路の整備が行われる。

2月10日(金) 臨時活動 曇り 11名

厳しい寒さが続く。また、雪のため、竹が倒れ掛かったり、看板や掲示板が傷んだり、とろいろな施設の不具合もみつかるとして、その修復も大変だ。普段から心



したい。前日の悪天候のため、臨時活動を11名の参加者が行うが、昼食後1時には終了。里山は販売用薪割り、エコは育苗ハウスのビニール張り替えとハウス内の整備を行った。

2月16日(木) 活動 晴れ 68名+1名

前週とは一転して、春本番を思わせる暖かい気候になり、風邪の季節もやっと過ぎ去ったと思われる。参加者の表情からも、何かゆったりとした雰囲気を感じられるのもそのためか。

里山Gはイベントに向けての植樹や遊びの森の準備、エコGは水田の整備やチップ散布、そして景観Gも実りの森の整備や、こちらもチップ散布を行い、春に向けての地道な活動も佳境を迎える。

また、池の水抜きが中心になった池班、花の移植が主な作業になった花班、そしてパトロールと散策路整備に取り組んだパト班と、こちらも忙しい一日の活動になった。



また佐保川地域自治会から、佐保川桜まつり燈

火会実行員委員会代表の橋本さんが来訪され、4月に行われるイベントの紹介・参加要請をされた。食事を摂りながら交歓をする。本日から新しいキャリアカーが入る。説明会の後、早速サイトで動き回る。新しい戦力になりそうだ。

鈴木会長の作成された、新しいならやまの看板が設置され、新規購入のキャリアカーの搬入もあり、ベースキャンプが、一層華やいだ気分満ち溢れた。

